

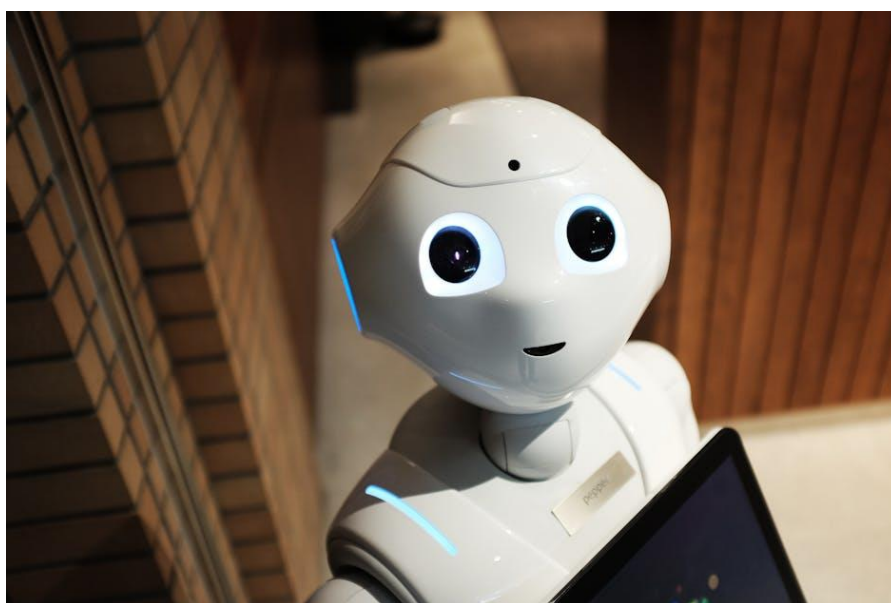
【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【前海で世界最大の AI 専門展示会開催 100 社超の企業が計 10 億人民元超の協力意向書締結】](#)

[【横琴、「一線開通、二線管理***」スタートから半年 車は 23 秒で通行、3,289 名のマカオ住民が食品携帯しボーダー超える】](#)

[【前海で世界最大の AI 専門展示会開催 100 社超の企業が計 10 億人民元超の協力意向書締結】](#)



2024年深圳（国際）汎用 AI 大会及び深圳（国際）汎用 AI 産業博覧会が8月28日から30日、前海地区の深圳国際コンベンションセンターで開催されました。現時点での世界最大の AI 専門展示会として、1,000社近くの出展企業、1,606点の展示品を誘致し、100社を超える企業が戦略的協力協定意向書に合意し、契約締結金額は10億人民元を超えました。

前海地区 AI 企業、既に 355 社

展示会は「魅力的な AI・無限未来」をテーマに、広東省商工連合会、深圳市工業・情報化局、深圳市前海管理局等機関の指導の下、深圳市 AI 産業協会が主催、「一会、一展、N（複数）フォーラム」の三本柱の構築に注力し、「会議、展示、営業」の三位一体のコアサポートシステムを構築した、世界初の汎用 AI をテーマとした大会及び博覧会となっています。

全国商工業連合会組織建設部の副部長である王兆成氏は「AI は新たな質の生産力の典型的な代表として、民間企業のコア・コンピタンスを高めることにおいて極めて重要な役割を果たしています」とスピーチで述べています。

「AI は新たな科学技術革命と産業変革の重要な原動力であり、深圳市委員会、市政府は AI の発展を非常に重視し、AI の先駆都市の創造に全力を尽くし「政策牽引+要素供給+生態育成+現場への実践普及」を堅持し、現在、我々はすでに大手企業がリードし、専精特新*企業やベンチャー企業がその後を追う雁行型梯队及び「都市+AI」のベンチマーク・シーンの形成が促進されました」深圳市工業・情報化局の副局長である譚岱氏は、今回の展示会により技術交流及び協力深化の重要なプラットフォームが構築され、需給ドッキングとシナリオ牽引の産業生態を構築し、AI 分野でより広範でより深い協力を促進することを望んでいると考えています。

*「専門性があり、精巧な技術力を持ち、独自性に優れ、革新力の高い」中小企業、製品、プロジェクトに与えられる称号。省、直轄市政府認定の「専精特新」企業は税制優遇措置などの恩恵を受けることができる。

深圳市前海管理局副局長、王錦俠氏は以下のように述べています。

国務院が承認した「前海深圳・香港現代サービス業協力区全体発展計画」においては、深圳・香港 AI 産業クラスターを構築し、知能演算インフラの建設を強力に推進する必要性が特に強調されています」と述べました。2024 年上半期現在、前海の AI 企業は 355 社に達し、うち 241 社が一定規模以上（国有企業と年間売上が 2,000 万元以上の非国有企業）AI 企業であり、産業発展のエネルギーレベルが向上し続けています。前海深圳香港 AI 計算力センターと智雲前海 AI 計算

カセンターが相次いでオープンし、大湾区の総合計算力サービスプラットフォームが構築され、計算力の統一的な供給能力は大幅に飛躍しました。

次に、前海は制度的メカニズムの優位性と対外開放の優位性を強調し、「ビッグ計算力、ビッグデータ、ビッグモデル、ビッグアプリケーション、ビッグシナリオ、ビッグセキュリティ」の6つの重要な次元を中心に体系的にレイアウトし「一雲多芯、以網強算、算網融合」**の強力な計算力を構築し、「AI データサービス+身体性をもつ AI ロボット」に焦点を当て、産業集積、要素集中、アプリケーション統合を備えた AI のオープン・イノベーション・エコロジーを構築し、数多くの産業への AI の総合的な普及を促進し、地域全体のインテリジェント変革のため新たな中心地を創設します。

**

「一雲多芯」：1つのクラウドプラットフォームを使用して、異なるチップアーキテクチャのコンピューティングリソースを管理すること

「以網強算」：ネットワーク接続と計算力リソースの最適化を通じて、効率的で柔軟な計算力サービスを実現すること

「算網融合」：計算リソースとネットワークリソースの深い融合

AI 新製品 61 点がデビュー

会場の面積は6万平方メートルで、世界最大規模の AI 専門展示会となります。それぞれ汎用 AI、インテリジェントセンサー通信、スマートターミナルというテーマの3つの展示館が設置され、大規模言語モデル、人型ロボット、身体性をもつ AI、デジタルヒューマン、通信、インテリジェントセンサー、スマートターミナルなどの展示エリアが含まれています。61点の新製品が初公開され、また、数多くの中国内 AI 業界トップの専門家、業界リーダー、深圳 AI 業界の代表企業が招待され展示会に参加しました。

「近年、AI の発展の勢いはすさまじく、各大国の科学技術の競争駆け引きの攻略ポイントとなっており、国家の核心競争力を構築する上で重要な役割を果たしています。深圳は、中国、更には世界の科学技術革新の重要地点として、AI の分野で欠くことはできない存在です」と、中国工程院院士で鵬城研究室主任の高文氏は述べました。

中国工程院院士の孟建民は「現在、AI は前例のないスピードで様々な分野に変

化をもたらし、広範囲に影響を与えつつあり、建築設計分野に従事する者として、AIの巨大な可能性に深く感銘を受けています」と述べ、また「AIは、強力な計算能力を提供できるだけでなく、設計、施工、管理など各段階において効率化、インテリジェント化への実現に役立ちます。このプロセスは、技術的な変革だけでなく、伝統的な産業が新しい時代を背景に質の高い発展を推進するための必然な選択です」と述べました。孟氏は、イノベーションとは技術的な変革だけでなく、思考の変化でもあると信じており、急速発展の時代において、伝統的な思考様式に挑戦し、積極的に新技術を取り入れ、未来思考に立って現在を考える勇気を持つ必要がある、と考えています。

今回の展示会の一番の目玉は汎用 AI のテーマ館で、深圳企業の UBTECH（優必選）の人型ロボットだけでなく、コンパニオンロボット、コーヒーロボット、バーテンダーロボットなども展示されています。展示会場では、ロボット犬パトロール館を見ることができ、300 平方メートルのインタラクティブ AR 展示エリアでは、未来の科学技術を没入体験することができます。なお、低空経済展示エリアでは、インタラクティブ UFO が人々の注目を集め、インテリジェント・テクノロジーの風向計を先導していました。

【横琴、「一線開通、二線管理***」スタートから半年 車は 23 秒で通行、3,289 名のマカオ住民が食品携帯しボーダー超える】

9 月 1 日、横琴・広東・マカオ深層協力区（以下「協力区」）が「一線開通、二線管理*」政策を実施後半年となりました。

この半年で「第一ボーダー」の監督管理のもとで、車両の出入境台数は延べ 115 万台を超え「新家園ルート」を通じて迅速出入境手続きをした出入境者数は延べ 105 万 9,000 人に達し、3,298 名のマカオ住民が審査を経て「関連動植物製品の協力持ち込み許可」優遇政策が適用され、「第二ボーダー***」の監督管理のもとで、協力区外へ通過した車両は延べ 938 万 6,000 台ほどに達しています。協力区の「第一ボーダー」「第二ボーダー」の運営は安定的かつ円滑であり、各政策の効果は着実に発揮されています。

***一線開通、二線管理：「一線」は「第一ボーダー」、「二線」は「第二ボーダー」を指す。

第一ボーダー：マカオと広東省珠海横琴間の境界線を指す。

第二ボーダー：広東省珠海市横琴と中国本土の他地域との境界線を指す。



国境を越える車両の出入境手続きの効率が 43%向上

「マカオ名物のエッグタルトやポークジャーキーも、マカオから横琴に持っていくことができる」と、数ヶ月前はとても新鮮に感じていたことが、今ではこれに慣れっこになってしまった、とマカオ住民の黄さんは話しました。ボーダー管理開始後、条件に合致するマカオ住民が加熱した食肉製品、乳製品、ゆで卵、野菜、果物、新鮮な切り花などを持って横琴に入ることが許可されました。この措置は中国で初めてのことで、横琴協力区とマカオのためにカスタマイズした利便的措置であり、マカオ住民の協力区での進学、就業、起業、生活に直接的メリットをもたらしています。

それだけでなく、横琴・マカオ入出境手続きに関する利便性向上により、二地域居住という生活スタイルがより多くのマカオ住民に選択されるようになりました。横琴ボーダーの出境検査ホールでは、税関と保安検査部門が X 線検査機を共

用し、「1機2画面、1回通関」モードを実施しているため、出境者の所持荷物は1回の通過だけでスムーズに通関できます。入境ホールには「新家園」という便利な快速ルートが設置され、マカオの4カテゴリーの住民は、7つの大分類の300種類以上の動植物製品を携帯し迅速に入境手続きを行うことができます。貨物車の「広東・マカオ連合ワンストップ」ルートでは、広東・マカオの5つの検査機関が共同で作業し、クロスボーダー車両に対し、一回の手続きで完了することを実現させ、税関審査の平均検査時間は40秒から23秒に短縮され、出入境手続きの効率は43%向上しました。

96の企業・事業体が免税事業体資格を取得

絶えずに向上している通行効率と各優遇措置は、横琴・マカオ一体化の加速発展を推進しています。芯潮流（珠海）科技有限公司は、集積回路の設計と検証に必要なハイエンド設備を輸入するにあたり、免税輸入事業体資格審査を通過しました。「横琴税関は早い段階から弊社の相談に乗ってくれ、資格審査通過後、自社用機械の輸入免税政策を受けることができた。これにより当社の調達運営コストを大幅に削減でき、市場競争力を強化することができる」と、同社の最高財務責任者、葛一益氏は述べました。

横琴協力区のボーダー管理政策が実施された後、「第一ボーダー」である横琴ボーダーを経てマカオから協力区に搬送された貨物の保税免除政策はさらに拡大し、免税輸入を適用できる事業体は企業、社会団体、民営非企業事業体を含む6種類までに拡大し、免税対象外商品リストは大幅に削減されました。現在、96の企業・事業体が免税事業体資格を取得しており、科学技術研究開発とハイエンド製造業、文化観光、国際会議・展示会、商業・貿易産業など多くの重点産業をカバーしています。3月1日から7月31日まで、協力区内の税関登録企業の輸出入総額は91億9,000万元に達しました。

また、貨物は「第二ボーダー」を経て横琴協力区に搬入される場合、増値税と消費税は還付され、輸出関税だけが徴収されます。広葉（珠海横琴）医薬輸出入有限公司の朱振宇社長によると、同社はすでに輸出税還付政策の実質的な恩恵を十分に享受している、と述べました。「当社は中国本土から原材料（靈芝孢子

油) を仕入れ、貨物が第二ボーダーを通過するとみなし輸出還付政策を享受でき、還付金はわずか 2 営業日以内に入金されました。これは当社にとって、企業の資金繰りを緩和できると同時に、財務コストを削減することもできました」と述べました。

【参考資料】

・[前海で世界最大の AI 専門展示会開催 100 社超の企業が計 10 億人民元超の協力意向書締結](#)

・[横琴、「一線開通、二線管理***」スタートから半年 車は 23 秒で通行、3,289 名のマカオ住民が食品携帯しボーダー超える](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====
[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====